

## デジタル技術を活用した安全対策事例の現地視察について

令和元年9月19日

## ■視察日時

9月12日(木)12時40分～15時40分

## ■視察場所

株式会社ダイセル播磨工場(兵庫県たつの市揖保川町馬場 805)

## ■参加団体等

一般社団法人セメント協会、一般社団法人日本アルミニウム協会、一般社団法人日本化学工業協会、日本鋳業協会、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本伸銅協会、日本製紙連合会、東京大学、厚生労働省、経済産業省、中央労働災害防止協会、みずほ情報総研株式会社

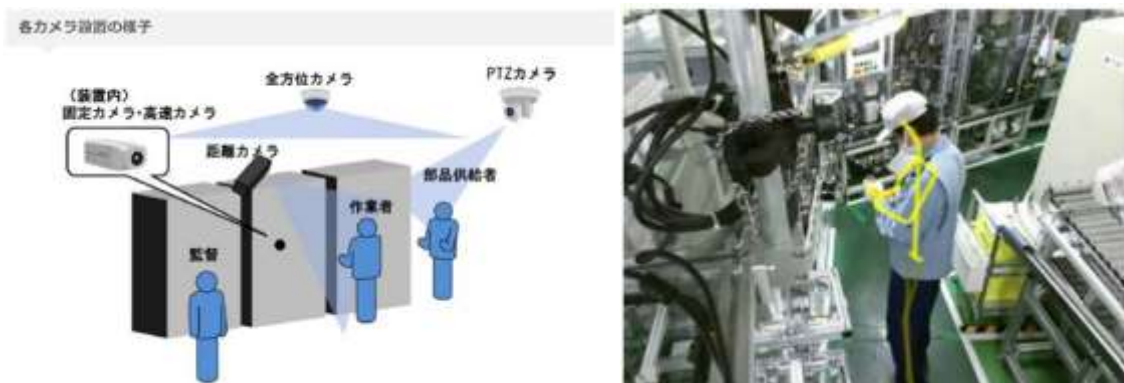
## ■視察内容

「ダイセルの「ダイセル式生産革新」に関して日立 Lumada を活用した現場作業員の逸脱動作や設備不具合の予兆を検出する画像解析システムとその現場運用」や安全教育施設(安全道場)等の現場視察及び意見交換を行った。

## ■技術概要

ダイセルと日立製作所が共同でシステム開発。各種カメラをセンシング手段として設置し、映像解析技術と製造実績データを連携させ、ヒューマンエラーの防止と設備不具合の予兆を検出する「画像解析システム」を確立させ、工場に導入。

カメラが作業中の作業員の手・肘・肩などの関節位置をデータとして取得し、基準となる標準動作モデルと実際の作業員の動きを撮影・比較しながら、「人の逸脱動作検知」を行うことにより、作業員の危険作業の未然防止に貢献。



## ■参加者の感想(アンケートから抜粋)

- ・画像により災害発生原因の根本まで分析できる技術やカメラ画像による怪我の分析は、他の業界でも活用できる。
- ・AI・IoT 等の技術を普及していく上で情報漏洩防止など情報セキュリティ技術の強化が必要。
- ・常時カメラが稼動するような AI・IoT を導入する上で、(プライバシー保護の観点から)作業員への説明を十分に行い、理解を求める必要がある。
- ・従業員の挨拶や場内交差点での指差呼称など、教育が徹底されていた。